

OutSystems Developer Cloud における ユーザーとロールの設定について

2023年4月に OutSystems 社よりクラウドネイティブに対応したローコードプラットフォーム「OutSystems Developer Cloud」(以下、ODC) がリリースされました。ODC はアプリケーションアーキテクチャに Kubernetes を採用したことで、マイクロサービスに準拠したものになりました。OutSystems 11 (以下、O11) とは大きく構成が変わり、O11 の IT ユーザーのロールに相当する「組織ロール」で設定できる内容と比較すると、ODC におけるユーザーとロールの管理は細かく設定できるよう変更されています。本書では、ODC の「ユーザー」の概要と、当社が検証した「組織ロール」の設定の一部を解説します。

内容

1. 組織ユーザー	3
1-1. 組織ユーザーの概要	3
1-2. 組織ユーザーの登録	4
2. 組織ロール	5
2-1. 組織ロールの概要	5
2-2. 組織ロールの設定項目	6
2-3. 組織ロール作成の補助機能	9
3. 終わりに	11

1. 組織ユーザー

1-1. 組織ユーザーの概要

「組織ユーザー」とは、ODC における「ユーザー」を指します。ODC の「ユーザー」は、O11 と比較すると大きく異なっている点の 1 つです。O11 のユーザーは、「IT ユーザー（開発ユーザー）」と「エンドユーザー（アプリの利用ユーザー）」の 2 種類を LifeTime（または Service Center）と Users アプリのそれぞれで管理します。一方、ODC の「ユーザー」は、「組織ユーザー（Organization User）」1 つのみとなり、ODC Portal で管理します。組織ユーザーに属性を与えることで、開発が可能なユーザーなのか、アプリを利用するエンドユーザーなのか、あるいは両方なのかを定義するようになりました。

まず、ODC Portal 画面でユーザーがどのように扱われているかを確認します（図 1：ODC の Users 画面）。

User	Access	Status	Last login	Actions
FK Pavel Pavlov	Member and End user	Active	Mar 12, 2024 09:10	...
HY Maximilian Hubler	Member and End user	Active	Apr 18, 2024 15:39	...
SH Shree Himel	Member and End user	Active	Jun 26, 2024 11:37	...
SM Sushant Manoj	Member and End user	Active	Apr 01, 2024 10:04	...
TT Madhavi Reddy	Member	Active	Jun 18, 2024 10:28	...
TA Dhanraj Manoj	Member and End user	Active	Aug 08, 2024 16:19	...
TA Yashwanth Kumar	Member	Active	Apr 24, 2024 13:41	...

図 1：ODC の Users 画面

Users 画面（図 1：ODC の Users 画面）の一番目のユーザーの「Access」欄を見ると「Member and End user」と表示されています（図 2：組織ユーザー）。

User	Access
FK Pavel Pavlov	Member and End user

図 2：組織ユーザー

Access 欄の「Member」は ODC の開発ができるユーザーを表し、アプリの利用者は「End user」と表示されます。したがって図 2 で確認できるユーザーは ODC の開発ができ、かつアプリの利用もできるユーザーである、と言えます。O11 では、開発ユーザーとエンドユーザーをそれぞれ登録する必要がありましたが、ODC では「組織ユーザー」のみを管理するようになったことがわかります。

1 - 2. 組織ユーザーの登録

ODC における組織ユーザーの登録手順のイメージは以下（図 3：組織ユーザー登録手順イメージ）です。



図 3：組織ユーザー登録手順イメージ

O11 では、IT ユーザー（開発者向けのユーザー）、エンドユーザーともに管理者がユーザーを登録することで、開発・利用ができるユーザーとなりますが、ODC では開発・利用ができるユーザーを登録するためには管理者がユーザーを招待したうえで、ユーザーに申請を行ってもらう必要があります。具体的には ODC のユーザー管理画面より組織ユーザーとなる利用者のメールアドレスを登録（図 4：組織ユーザー招待画面）し、利用者にメールが届きます（図 5：ODC ユーザー招待メール）。

図 4：組織ユーザー招待画面

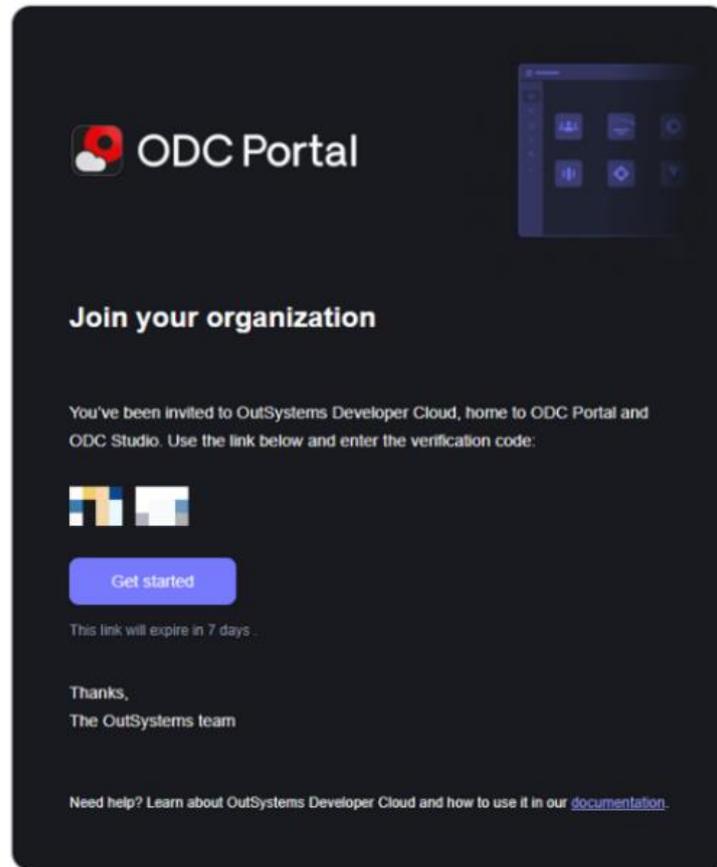


図 5 : ODC ユーザー招待メール

招待された組織ユーザーは、招待メールにある「Get started」をクリックし、認証コードにより組織ユーザーとなります。

2. 組織ロール

2 - 1. 組織ロールの概要

「組織ロール」とは、O11 の「ロール」に相当するものですが、そのロールへの権限付与の設定方法は大きく異なります。ODC のロールは「組織ユーザー」と同様に「組織ロール」と「エンドユーザーロール」の 2 つに分かれます。「エンドユーザーロール」は、ODC で作成したアプリにアクセス可能なユーザーを対象とするため、本書では詳細を省略します。

組織ロールにはあらかじめ「Administrator」と「Developer」の 2 つの組み込みロール（Built-in role）が用意されています（図 6 : 組織ロール画面）。

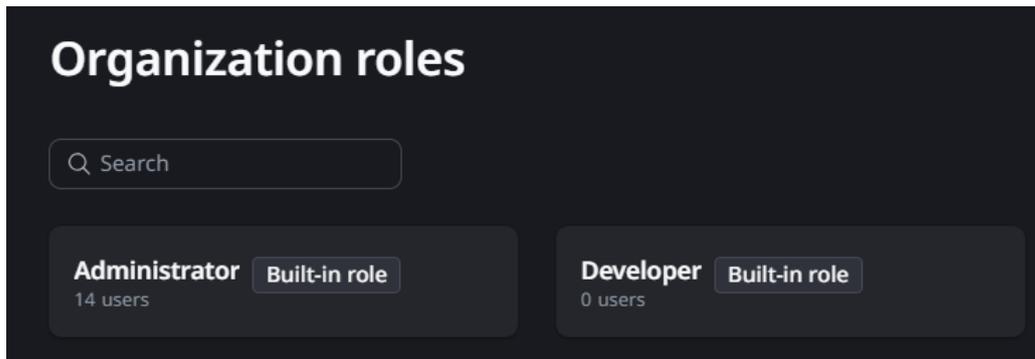


図 6：組織ロール画面

どちらのロールも新規ユーザーの招待はできますが、「Developer」ロールはアプリケーション（エンドユーザーロール）へのアクセスを開発ステージにのみ付与が可能です。それ以外のロール（開発者向けのロール）や、テスト・本番ステージ用のエンドユーザーロールを付与する場合は、「Administrator」ロールで行う必要があります。

2 - 2. 組織ロールの設定項目

管理者は「組み込みロール」の他に「カスタム組織ロール」を作成できます。カスタム組織ロールは O11 のロールと比較すると、組織ユーザーの権限を細かく設定できるようになっています。ODC のカスタム組織ロールで設定できる項目（表 1：組織ロールの設定項目とその内容）と画面イメージ（図 7-1～3：組織ロール登録画面）をご確認ください。

表 1 組織ロールの設定項目とその内容

No.	項目名	内容
1	Role Name	組織ロールの名称（必須）
2	Asset management	アプリへのアクセス権限を設定
3	Stage	Stage（開発/テスト（検証）/本番）へのアクセス権を選択
4	Release management	Stage へのアプリのリリース権限を選択
5	Monitoring	アプリのログ・トレース情報、ユーザー情報およびライブラリ構成の情報閲覧権限を設定
6	Configuration management	ODC の各種構成設定権限を付与 アプリ、ライブラリ構成の変更、接続構成やメール設定、IP ルール設定などの権限を設定
7	Connection management	外部 DB（Oracle、SQL Server や、Salesforce、SAP OData 等）との接続設定の権限を設定
8	User management	User の設定 組織ロール設定、エンドユーザーのロール設定、ユーザーグループの作成や削除などの権限
9	Forge	Forge のインストールや更新権限の設定
10	Support	組織のサポートケースへの表示権限
11	Subscriptions	サブスクリプションの参照・更新権限

※設定できるフラグの詳細は除いています。

図 7-1 : 組織ロール登録画面（Role name～Release management）

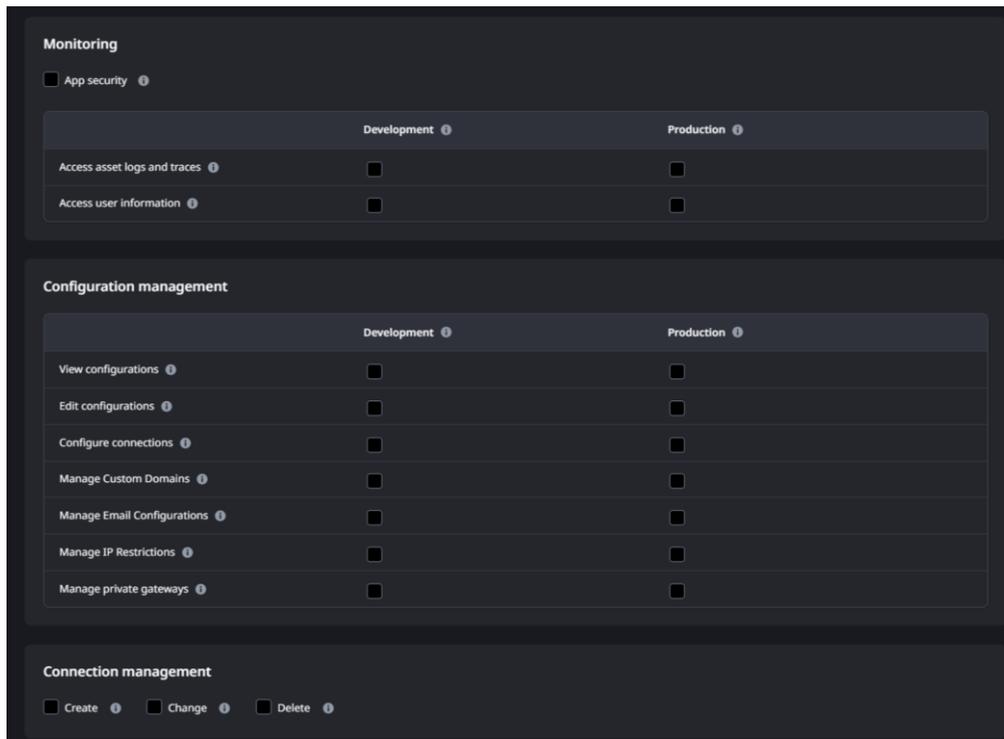


図 7-2 : ロール登録画面 (Monitoring~Connection management)

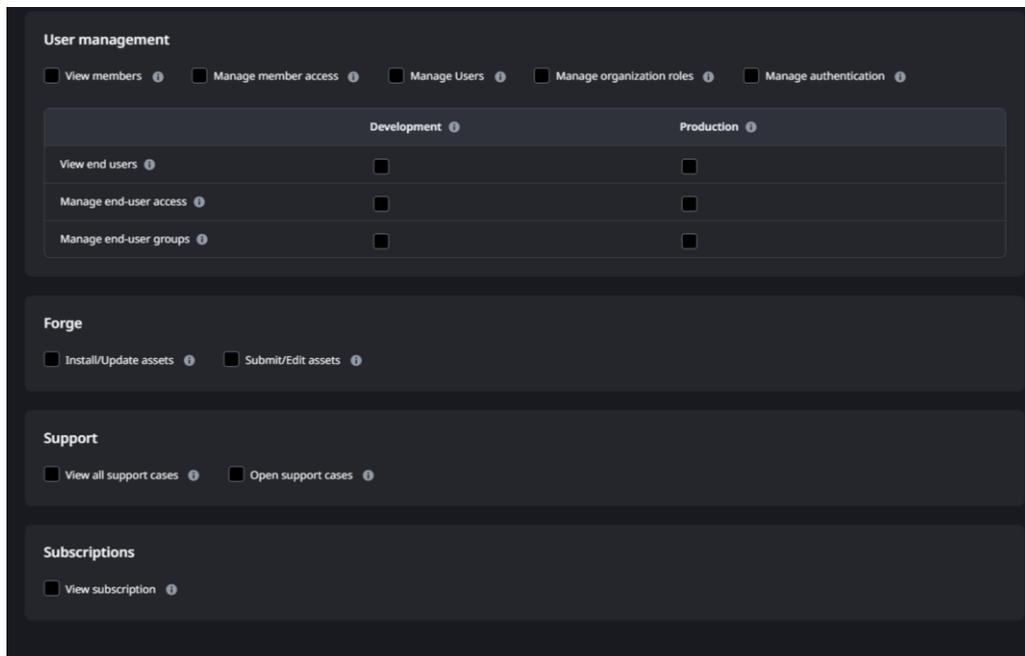


図 7-3 : ロール登録画面 (User management~Subscriptions)

参考までに、O11 での IT ユーザーのロール管理は、環境ごとに操作できるレベルを設定するようになっています (図 8 : O11 の IT ユーザーロール管理 (LifeTime) 参照)。

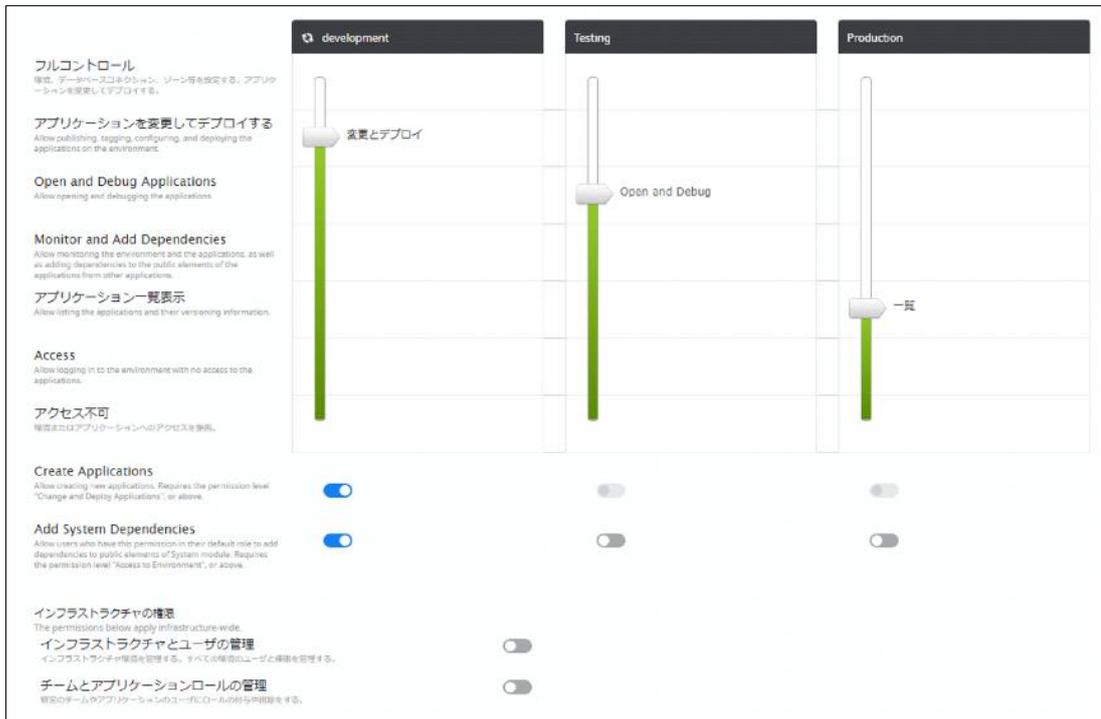


図 8 : O11 の IT ユーザーロール管理 (LifeTime)

カスタム組織ロールは O11 の IT ユーザーロールと比較すると、その設定方法が大きく違うことがわかります。O11 の IT ユーザーのロールはスライダーによる権限レベルでの設定に対し、カスタム組織ロールは、ロールの項目への権限有無（チェックボックスによる On/Off）で設定します。また、組織ロールの項目は、アプリへのアクセス権限（開発者向け）、リリース権限（運用者向け）、インフラ設定権限（インフラ管理者向け）のように権限と実施できることが分けられています。

例えば、O11 ではアプリ開発を担当しないデータベース管理者やネットワーク管理者などのユーザーに対しても、アプリの登録・開発を含むフルコントロール権限を付与する必要がありました。しかし、ODC の組織ロールでは、インフラ管理者用のロールを作成できるようになりました。これはゼロトラストの考え方である「最小権限の原則（ユーザーの権限は最小限にとどめ、適切に付与する）」に合致しています。

ただし、組織ユーザーに対して付与できる組織ロールは 1 つのみであるため、要員と役割分担を検討し、どのようなロールを作成・付与するかを、運用設計の段階で検討する必要があります。なお、組織ロールの作成に際して、ODC の機能として補助するものが備わっています。その動作を次の章で説明します。

2 - 3. 組織ロール作成の補助機能

組織ロールの設定画面には、先述したように補助機能が備わっています。権限を付与するために、フラグを ON にすると、その権限に関連するフラグが自動で ON に設定される、というものです。実際の動作を見てみましょう。まず、Asset management 項目には何もセットされていないことを確認します（図 9 : 組織ロールの初期状態）。

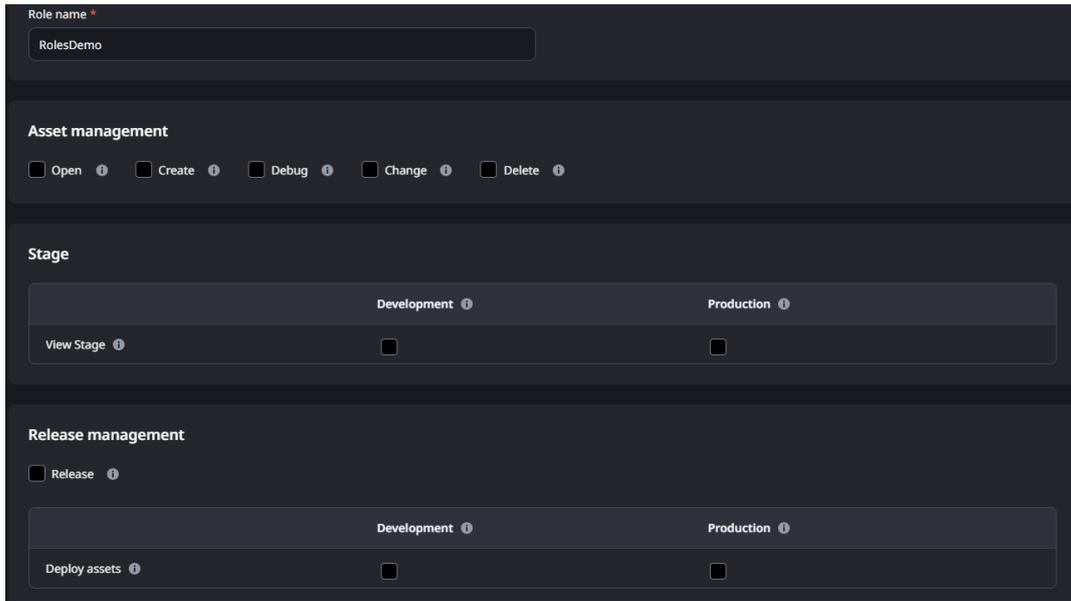


図 9：組織ロールの初期状態

例として、アプリケーションを作成するために必要なロールの設定を行います。そのためには Asset management 項目の Create（アプリの作成）フラグを ON にする必要があります。実際に同項目を ON にすると、その他の項目が自動的に ON になる項目があることがわかります（図 10：Create フラグを ON にしたところ）。

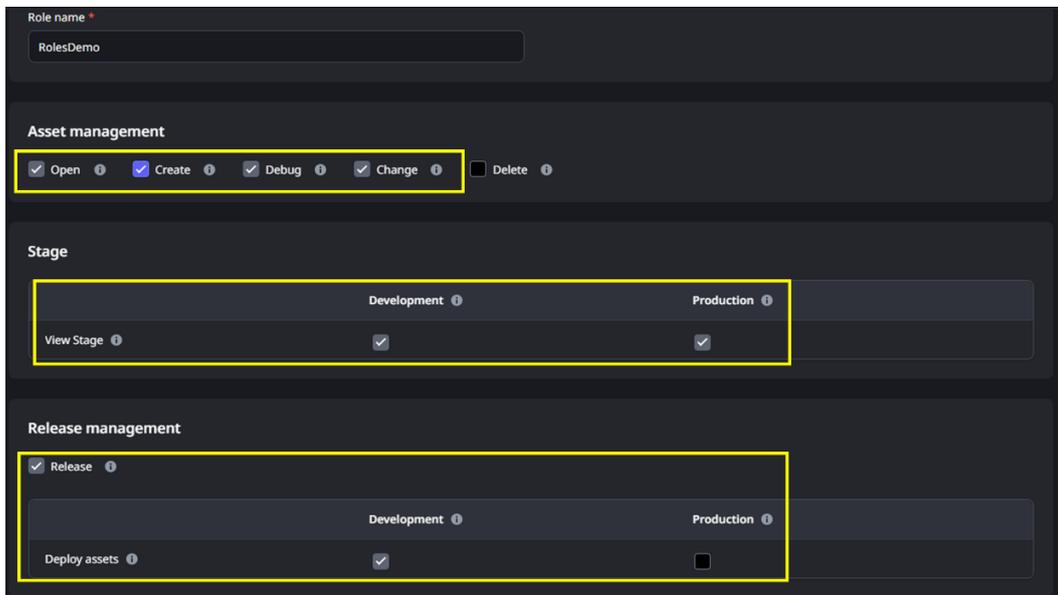


図 10-1：Create フラグを ON にしたところ（Stage～Release management）

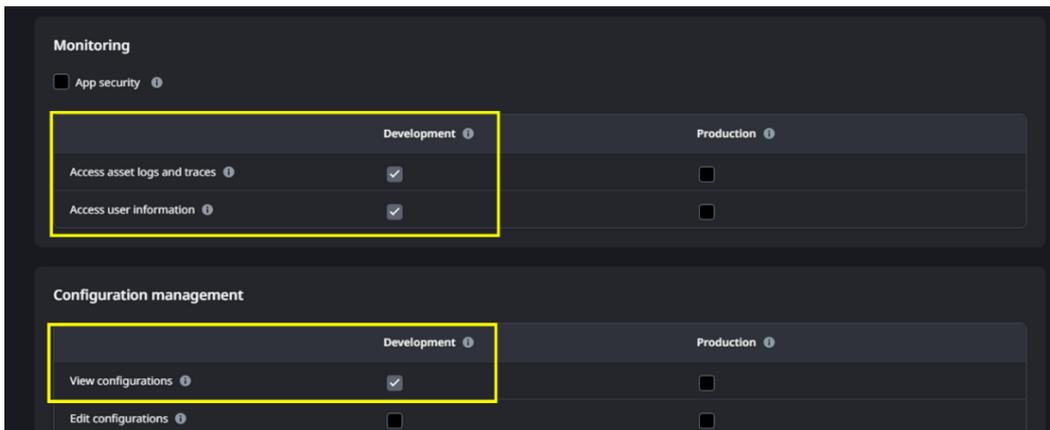


図 10-2 : Create フラグを ON にしたところ (Monitoring～Configuration management)

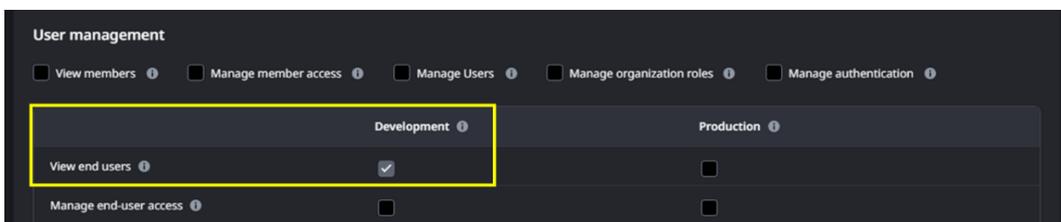


図 10-3 : Create フラグを ON にしたところ (User management)

このように自動で関連するフラグを ON にしてくれます。なお、自動で付与されるフラグは非活性となっており、変更はできません。そのため作成する組織ロールは、自動で付与するパターンを事前に確認し十分検討する必要があります。

3. 終わりに

このように O11 とは異なり、ODC のユーザー管理方法およびロール（権限）設定が細かく行えます。特に組織ロールはどのユーザーに対して、どの範囲までの権限を設定すべきか、をよく考える必要があります。ユーザーに付与する権限は、適切に設定することが重要であり、ガバナンスの観点からも過度な権限付与を避けることが求められます。ODC におけるロール・権限の設定について一助になれば幸いです。

なお、ODC と O11 との違いについて、簡単なアプリケーション作成からデプロイまでの作業を解説した資料を公開しておりますので、そちらも併せて御覧いただければと思います。

公開資料：『アプリケーションの構築を通じた OutSystems Developer Cloud の機能紹介』

資料 URL：<https://tdi.smkgtg.jp/public/seminar/view/6132>

tdi では、OutSystems の機能や技術について十分な知識を持った多くの技術者を有しており、資格保有者数は国内トップクラスです。ローコード開発が一般的に注目される以前（2016 年）から重ねた OutSystems 開発の実績をもとに、IT 戦略コンサルティングや OutSystems 導入から運用までをトータル



サポートします。また、お客様に合わせた人財育成や内製化もご支援いたします。何かお困りごとがございましたらどうぞお気軽にお問合せください。

【ローコード開発基盤「OutSystems」】

<https://www.tdi.co.jp/outsystems/>

【お問い合わせ】

<https://tdi.smktg.jp/public/application/add/1095>

※OutSystems® とロゴは OutSystems-Software Em Rede S.A.の登録商標です。



営業本部

東京: 〒163-1332 東京都新宿区西新宿六丁目 5 番 1 号 新宿アイランドタワー32 階

TEL 03-5325-4811 (代表) FAX 03-5325-4812

中部: 〒451-6027 愛知県名古屋市西区牛島町 6 番 1 号 名古屋ルーセントタワー27 階

TEL 052-571-6871 (代表) FAX 052-571-3856

関西: 〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島二丁目 2 番 7 号 中之島セントラルタワー20 階

TEL 06-6201-7739 (代表) FAX 06-6201-7740

九州: 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東二丁目 10 番 1 号 JR 博多駅東 NSビル 7 階

TEL 092-451-8218 (代表) FAX 092-474-7379